

1 事業概要

事務事業名 車両管理事務		課名	総務文書課	事業No.	10
		会計	一般会計		
		事業区分	経常	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画				
	法令・例規等			飯田市車両管理規程	
事業目的	対象	庁用車及び総務文書課共有管理車両			
	意図	良好な状態を維持します。			

2 事業内容

29年度 取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)	
	公用車の適正な整備点検の実施と、経年劣化により老朽化した車両（ハイブリッド車、軽乗用車、軽貨物車、マイクロバス）の更新を行いました。		車両整備担当職員賃金				1,983	
			車両用消耗品費、燃料費、修繕料等				8,874	
			保険料				4,642	
			自動車購入費				11,030	
			マイクロバス修繕料				1,944	
			マイクロバス運転業務委託料				10,054	
その他の経費						693		
活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成28年度 実績	平成29年度 実績	平成30年度 実績	平成31年度 実績	平成32年度 実績	
	総務文書課管理の車両台数	台	29	28				
29年度 決算 (千円)	予算額	42,123	特定財源内訳及び補足事項					
	決算額	39,220	(そ)ふるさと寄附金					
	財源の 状況	国庫支出金	0					
		県支出金	0					
		地方債	0					
		その他	20					
一般財源	39,200							

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	4	10	1	30,063	27,162	車両管理費
2	1	2	1	4	10	3	12,060	12,058	マイクロバス運転管理費
3									
4									
5									
6									
7									

振り返り課題認識	公用車による交通事故については、減少傾向にあるが、さらなる事故防止に向けた取り組みが必要である。また、公用車の経年劣化による定期的な車両の更新が必要である。
上記の課題解決のための有効策	定期的に交通安全に関する啓発を行う。 公用車の適正な管理を行い、公用車の更新時期を調整し、財政負担を平滑化する。
次年度に向けての取り組み	交通事故防止に向けた啓発、公用車の適正管理に取り組む。